

企画展

# 多様性

メディアが変えたもの

メディアを変えたもの

## 関連イベント

- 会場：ニュースパーク（日本新聞博物館）  
2階イベントルーム
- 定員：60人  
またはオンライン（ZOOM）100人
- 参加費：会場参加 無料 ※当日の入館料が必要です  
オンライン 400円

### シンポジウム 「多様性とメディア」

多様性を認め合い、受け入れることの意味と難しさ、人々の意識の変化について議論しながら、メディアの役割や課題を考えます。メディアの中の多様性の推進についても考えます。

#### ■登壇者



東京大学理事・  
副学長  
大学院情報学環教授  
(ジャーナリズム研究)  
林香里氏



ジャーナリスト・  
メディアコラボ代表  
古田大輔氏



星槎大学  
大学院教授  
(社会学、公衆衛生学)  
細田満和子氏



日本放送協会  
報道局  
長尾香里氏



神奈川新聞社  
統合編集局  
報道部記者  
蓮見朱加氏

進行は、  
当館館長の尾高泉が務めます。

7月15日(土)

午後1時30分～4時



### シンポジウム 「新聞とジェンダー平等」

新聞は、人権を尊重し、差別を認めないという観点からさまざまな報道をしてきました。しかし、男女平等の視点では、日本は先進国で最低レベルとされています。メディアの取り組みはどうでしょうか。社内の20代女性の比率が半数になり男女問わず若い世代が多様性に敏感になっているいま、都道府県別のジェンダー・ギャップや新聞・通信社の取り組みについて考えます。

#### ■登壇者



上智大学  
法学部教授  
三浦まり氏



朝日新聞社  
ジェンダープロジェクト  
担当補佐  
井原圭子氏



毎日新聞  
東京本社  
社会部記者  
川崎桂吾氏



[進行]  
西日本新聞社  
執行役員  
北九州本社代表  
甲木正子氏

7月29日(土)

午後1時30分～3時30分



※職名はいずれも6月1日現在

## シンポジウム 「多様性とメディア」

7月15日(土)  
午後1時30分～4時



いま、さまざまな分野で「DE&I」(多様性、公平性、包摂性)を推進する活動が増えています。一方で、社会にはこれを否定する乱暴な言葉が行き交う場面もあります。多様性を認め合い、受け入れることは、差別や偏見をはじめ人々の意識に関わることから、メディアや教育の影響が大きいといえます。メディアや医療社会学の研究者、マスメディアやデジタルメディアの記者として活動されてきた方々に、企画展で示しているさまざまな視点を踏まえ議論いただきます。参加のみなさんと一緒に、「多様性とメディア」の未来を考えます。

## シンポジウム 「新聞とジェンダー平等」

7月29日(土)  
午後1時30分～3時30分



新聞は、人権を尊重し、差別を認めないという観点から、医学部入試の女子学生差別など、ジェンダー平等について問題提起し、改善へとつなげてきました。しかし、政治の意思決定の場に女性が少ないこと、男女間の賃金格差、家事・育児時間の男女比など、社会の中には、たくさんのジェンダー不平等が残っています。その中で、2022年から、上智大学の三浦まり教授らのグループが「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」を公表し、共同通信社加盟の全国各紙が地域の特性と重ねて報じています。報道・事業活動や組織内部の多様性の確保に取り組む新聞社もあります。新聞・通信社のジェンダー平等への取り組みと課題、その影響などを話し合い、参加のみなさんと一緒に、これからの新聞の在り方も考えます。

### ■申し込み方法

- 会場参加**
- ・住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、Eメール (npevent@pressnet.jp) もしくは Peatix からお申し込みください。
  - ・Eメールのタイトルは「15日多様性とメディア参加希望」もしくは「29日新聞とジェンダー平等参加希望」としてください。

- オンライン参加**
- ・イベント検索サービス「Peatix」からお申込みください。  
URLはこちら→<https://newspark2023-diversity1.peatix.com>  
<https://newspark2023-diversity2.peatix.com>

※特別会員 / 研究会会員の団体関係者、友の会会員は、入館料 / オンラインの参加費いずれも無料です。Eメール (npevent@pressnet.jp) からご所属、お名前を明記のうえお申し込みください。

